

1984年 1月25日

&lt;毎月10日、25日発行&gt;

第53・54合併号 8頁300円

定期購読料(1部22回)  
手渡し 3000円/開封 3500円/密封 4000

## 赤旗

共産主義者同盟中央機関紙

(1980年2月28日第3種郵便物認可)

発行  
赤路社東京都大田区大森北1-13-11  
電話(03)766-4729 東京7-86947  
編集・発行人 北沢晋  
関西赤路社  
大阪市福島区大門1-19-13  
副島ビル 電話(06)462-7030

レーガン来日訪韓阻止に決起した労農人民

# 中全会 動員創建を戦いとれ

## 八三年闘争の教訓と進路

(一)

八十年中期以降、なかなか二世紀への展望をかけて、新たな決意をもつて闘われるべき八四年の新しい年が明けた。

すぐる一年、世界は激動の戦争と革命の時代の深まらを見えた。とりわけ、中南米革命の前進と共に、昨秋フリーダム革命の烽火とレーガン訪日に対する反帝闘争が、明らかに世界は、米ソを中心とする帝国主義の危機とその新殖民地支配の破綻、米ソ両プロックの世界戦争の危険の増大、他方でアジア・中米・中東を含む第三世界の軍事独裁政権打倒に向う民族解放闘争と、米・ソ両超大国を中心とする帝国主義中枢における反帝闘争が、结合して運動しあい、二世紀を前に、戦後世界体制の動搖と再編・再統合の過程が、より深く、拡大・激化している。

世界史的激動の中であって、昨八年世界と、とりわけアジアの激動の開始がわれわれを援助つつ要請した国際主義的責務からすれば、また「五年体制」

社会党・総評 日共の崩壊の進行の中で、この左からの戦闘的批判者にとって、また新左翼政治の歴史的脱皮と左共に代わる政治勢力への再生を希求してきたことからすれば、昨秋 レーガン来日訪韓阻止を二つの象徴として、われわれは厳しい締結をさざえるをなべた。

それは、「言ひたまは、アジア第一世代」である。米ソを高峰とした戦後世界体制は、崩壊の危機にある。第三世界

性化と高揚の中で、日米安保体制の頭目、戦争屋レーティン訪日に関連して、社会党一派評が「レーガン米日反対」の旗をあげたことは、いわゆる戦後「革新」勢力の歴史的終えんの宣言である。このまことに歴史的転換点となり、これなりと代わったことは、いわゆる戦後「革新」勢力の歴史的終えんの宣言である。このまことに歴史的転換点となり、これがその主導権を握ることをもつた政治組織を登場させることができないことである。

とりわけその主導権となるべき労働運動における低迷と階級的労働運動の真正化、に向う困難が誰の目にも明らかとなつて、大衆的な起業指導し、組織する力をもつた政治組織を登場させることができないことである。

したことは、いわゆる戦後「革新」勢力の歴史的終えんの宣言である。このまことに歴史的転換点となり、これがその主導権を握ることをもつた政治組織を登場させることができないことである。

したことは、いわゆる戦後「革新」勢力の歴史的終えんの宣言である。このまことに歴史的転換点となり、これがその主導権を握ることをもつた政治組織を登場させることができないことである。

したことは、いわゆる戦後「革新」勢力の歴史的終えんの宣言である。このまことに歴史的転換点となり、これがその主導権を握ることをもつた政治組織を登場させることができないことである。

## 戦争と革命の時代

(二)

## 共産主義者同盟中央委員会

く、拡げ、浸透しつつあるといふのである。

じつした新たな階級と可能性が、他方での新左翼諸派の流動と重複、党派闘争の激化と背出あわせとならつて、八三年に生みだされた。

八四年、世界はアジアの激動は、更に深まることである。

それが、われわれは、帝國主義打倒の

勝利していくことである。この闘いは、帝國主義の人類と地球の破壊の熱望をたちあらわす人間史的意義をもつた闘いである。

八四年、世界はアジアの激動は、更に深まることである。

それが、われわれは、帝國主義打倒の

勝利していくことである。この闘いは、帝國主義の人類と地球の破壊の熱望をたちあらわす人間史的意義をもつた闘いである。

それが、われわれは、帝國主義打倒の

勝利していくことである。この闘いは、







# 西戸組・権力破る戦列を

83~84越冬闘争  
成果打ち固めよ



獄中の仲間と心ひとつに越冬を闘う

83~84越冬闘争は、まさしく85年をめざす戦争国家態勢づらの先取りとして、右翼暴力団、権力、行政の重圧に対し、これとの実力対決一大衆的自衛武装の陣型をつくり出し、各地域労組の支援労働者の大衆的結集を推し図るものであった。

それ故に、越冬闘争を通じて全

国民連帯によつてつくられた西戸組・権力の実力対決の陣型を打ち固め、西戸組・権力の重対峙を攻勢的打と破る長期対峙陣型を展

希望するものにして、今越冬闘争の統一であり、獄中同志の統一公

判官徴、「凶津」実刑攻撃粉砕、

西戸組の結合が不可欠である。しかし、獄中に多くの同

志を奪われながら対西戸組・権力

を闘いつつあるものではない。

それはこの闘いが既に示して

いるように、寄せ場をめぐる戦

闘争の統一である。右翼戦線は、新

たもので、どこまでも攻撃が激化して

いる。しかし、獄中同志の統一

公判はこれにて止まるものではない。

それ故に、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、反右翼、反

天皇、反差別の大キャンペーン

をからとらねばならない。

さなば、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、「青思

合」「生長の家」「日本を考える

会」などの全国的連合が進み、改

められぬ。日雇全協はこの間

の「野垂れ死に」攻撃が激化して

いる今日、どんな困難があろうとも

やりとげ、日雇全協の組織的強化

をかちとらねばならない。

さなば第1回、対西戸組・皇誠

会包囲、追撃の要は、反右翼、反

天皇、反差別の大キャンペーン

をからとらねばならない。

さなば、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、「青思

合」「生長の家」「日本を考える

会」などの全国的連合が進み、改

められぬ。日雇全協はこの間

の「野垂れ死に」攻撃が激化して

いる今日、どんな困難があろうとも

やりとげ、日雇全協の組織的強化

をかちとらねばならない。

さなば、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、「青思

合」「生長の家」「日本を考える

会」などの全国的連合が進み、改

められぬ。日雇全協はこの間

の「野垂れ死に」攻撃が激化して

いる今日、どんな困難があろうとも

やりとげ、日雇全協の組織的強化

をかちとらねばならない。

さなば、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、「青思

合」「生長の家」「日本を考える

会」などの全国的連合が進み、改

められぬ。日雇全協はこの間

の「野垂れ死に」攻撃が激化して

いる今日、どんな困難があろうとも

やりとげ、日雇全協の組織的強化

をかちとらねばならない。

さなば、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、「青思

合」「生長の家」「日本を考える

会」などの全国的連合が進み、改

められぬ。日雇全協はこの間

の「野垂れ死に」攻撃が激化して

いる今日、どんな困難があろうとも

やりとげ、日雇全協の組織的強化

をかちとらねばならない。

さなば、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、「青思

合」「生長の家」「日本を考える

会」などの全国的連合が進み、改

められぬ。日雇全協はこの間

の「野垂れ死に」攻撃が激化して

いる今日、どんな困難があろうとも

やりとげ、日雇全協の組織的強化

をかちとらねばならない。

さなば、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、「青思

合」「生長の家」「日本を考える

会」などの全国的連合が進み、改

められぬ。日雇全協はこの間

の「野垂れ死に」攻撃が激化して

いる今日、どんな困難があろうとも

やりとげ、日雇全協の組織的強化

をかちとらねばならない。

さなば、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、「青思

合」「生長の家」「日本を考える

会」などの全国的連合が進み、改

められぬ。日雇全協はこの間

の「野垂れ死に」攻撃が激化して

いる今日、どんな困難があろうとも

やりとげ、日雇全協の組織的強化

をかちとらねばならない。

さなば、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、「青思

合」「生長の家」「日本を考える

会」などの全国的連合が進み、改

められぬ。日雇全協はこの間

の「野垂れ死に」攻撃が激化して

いる今日、どんな困難があろうとも

やりとげ、日雇全協の組織的強化

をかちとらねばならない。

さなば、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、「青思

合」「生長の家」「日本を考える

会」などの全国的連合が進み、改

められぬ。日雇全協はこの間

の「野垂れ死に」攻撃が激化して

いる今日、どんな困難があろうとも

やりとげ、日雇全協の組織的強化

をかちとらねばならない。

さなば、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、「青思

合」「生長の家」「日本を考える

会」などの全国的連合が進み、改

められぬ。日雇全協はこの間

の「野垂れ死に」攻撃が激化して

いる今日、どんな困難があろうとも

やりとげ、日雇全協の組織的強化

をかちとらねばならない。

さなば、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、「青思

合」「生長の家」「日本を考える

会」などの全国的連合が進み、改

められぬ。日雇全協はこの間

の「野垂れ死に」攻撃が激化して

いる今日、どんな困難があろうとも

やりとげ、日雇全協の組織的強化

をかちとらねばならない。

さなば、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、「青思

合」「生長の家」「日本を考える

会」などの全国的連合が進み、改

められぬ。日雇全協はこの間

の「野垂れ死に」攻撃が激化して

いる今日、どんな困難があろうとも

やりとげ、日雇全協の組織的強化

をかちとらねばならない。

さなば、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、「青思

合」「生長の家」「日本を考える

会」などの全国的連合が進み、改

められぬ。日雇全協はこの間

の「野垂れ死に」攻撃が激化して

いる今日、どんな困難があろうとも

やりとげ、日雇全協の組織的強化

をかちとらねばならない。

さなば、越冬闘争の成果を日本

会包囲、追撃の要は、「青思

合」「生長の家」「日本を考える

会」などの全国的連合が進み、改

められぬ。日雇全協はこの間

# 日帝打倒・米帝一掃の闇いを

新春対談

## 激動の時代に革命の主体を問う

アジアの激動の始まりは、わが日本労働者人民に、国際主義的内実を鋭く問うてある。この間に応えるべく、武藤一羊氏を対談に迎えた。(編集局)

### 戦争と革命の時代

#### 米ソの世界核戦争危険せまる

生田

### 代理戦争論はブルジョア的見方

生田

武藤

生田 その問題をより主体的に見ていくべきだと思います。武藤 レーニンの場合には帝国主義戦争を内戦へという外処の仕事で、いかにそれができるかで、第一次大戦とレーニンの戦略の場合はどうしてたから、戦争と革命の時代といふべきである。革命たなばた論になる可能性がある。戦争の危険があるか

生田

きょうはARC十周年を迎えた。国際連帶をすすめようとしている武藤一羊さん御出席いただき、「激動する世界、とりわけアジア情勢」とわれわれの主体を聞く所をテーマにお話をうかがいたいと思っていま

ます。

では、最初私の方から少し問題を提起させていただきたいのですが、昨年、アキノ氏暗殺、大韓航空機事件、ラングーン事件等やつま早におこり、フィリピン情勢

よいよ波瀾がたったアシアに活動の時が始まりました。これは全世界的な状況と連鎖してい

るわけで、私たち流にいえば史上二度目の新たな戦争と革命の時代ですね。一方超大国を軸にすれば、米ノ超大国を軸にするわけ

る新たな世界戦争の危険と第三

世界の民族革命をはじめ世界革命の要素とがぶつかりあいつつ共に激化していく時代という認識いた

つけです。そこで、その戦争の政

的性格をどのように捉えているのか、また最近、武藤さんがつかつておられる「二つの帝国論」とは

どういったものなのか、そこあた

りからはじめたのですが。

武藤 第二次世界大戦の複雑

受け身にならんで、いま代理戦

界に対する支配という側面、資本等

・領土・採取・抑圧関係がすつ

るものが、一つは第三世

代航海時代から始まる植民地支配。第二世界といふのはわりと新しく概念けれども、段階論的

にヨーロッパを中心とする中核と

地理的にはAIAAに対する不

平の考え方では戦後のアメリカ

がついで体制として戦後のアメリカ

時代といふのがあった。そして

それがおおお單一の関係に統合さ

れてくる。そこで、その開拓戦略といふの意味を主導したのは本質的

にいて石油資源ですね。なぜか

それと対抗しながらソ連体制とい

うものがある。

農村の崩壊がおこった。だからま

る。私はアメリカを帝国として見

ます。お金儲けがわかるわけです。

新植民地支配の破綻と激動

アジアに搾取の音が聞こえる

世界の民族革命をはじめ世界革命

の要素とがぶつかりあいつつ共に激化していく時代という認識いた

つけです。そこで、その戦争の政

的性格をどのように捉えているのか、また最近、武藤さんがつかつておられる「二つの帝国論」とは

どういったものなのか、そこあた

りからはじめたのですが。

武藤 民族解放闘争も第一次

戦論になる。その代理戦争論が今

の要素とがぶつかりあいつつ共に激化していく時代という認識いた

つけです。そこで、その戦争の政

的性格をどのように捉えているのか、また最近、武藤さんがつかつておられる「二つの帝国論」とは

どういったものなのか、そこあた

りからはじめたのですが。

武藤 第二次世界大戦の複雑

受け身にならんで、いま代理戦

界に対する支配という側面、資本等

・領土・採取・抑圧関係がすつ

るものが、一つは第三世

代航海時代から始まる植民地支配。第二世界といふのはわりと新しく概念けれども、段階論的

にヨーロッパを中心とする中核と

地理的にはAIAAに対する不

平の考え方では戦後のアメリカ

がついで体制として戦後のアメリカ

時代といふのがあった。そして

それがおおお單一の関係に統合さ

れてくる。そこで、その開拓戦略といふの意味を主導したのは本質的

にいて石油資源ですね。なぜか

それと対抗しながらソ連体制とい

うものがある。

農村の崩壊がおこった。だからま

る。私はアメリカを帝国として見

ます。お金儲けがわかるわけです。

新植民地支配の破綻と激動

アジアに搾取の音が聞こえる

世界の民族革命をはじめ世界革命

の要素とがぶつかりあいつつ共に激化していく時代という認識いた

つけです。そこで、その戦争の政

的性格をどのように捉えているのか、また最近、武藤さんがつかつておられる「二つの帝国論」とは

どういったものなのか、そこあた

りからはじめたのですが。

武藤 第二次世界大戦の複雑

受け身にならんで、いま代理戦

界に対する支配という側面、資本等

・領土・採取・抑圧関係がすつ

るものが、一つは第三世

代航海時代から始まる植民地支配。第二世界といふのはわりと新しく概念けれども、段階論的

にヨーロッパを中心とする中核と

地理的にはAIAAに対する不

平の考え方では戦後のアメリカ

がついで体制として戦後のアメリカ

時代といふのがあった。そして

それがおおお單一の関係に統合さ

れてくる。そこで、その開拓戦略といふの意味を主導したのは本質的

にいて石油資源ですね。なぜか

それと対抗ながらソ連体制とい

うものがある。

農村の崩壊がおこった。だからま

る。私はアメリカを帝国として見

ます。お金儲けがわかるわけです。

新植民地支配の破綻と激動

アジアに搾取の音が聞こえる

世界の民族革命をはじめ世界革命

の要素とがぶつかりあいつつ共に激化していく時代という認識いた

つけです。そこで、その戦争の政

的性格をどのように捉えているのか、また最近、武藤さんがつかつておられる「二つの帝国論」とは

どういったものなのか、そこあた

りからはじめたのですが。

武藤 第二次世界大戦の複雑

受け身にならんで、いま代理戦

界に対する支配という側面、資本等

・領土・採取・抑圧関係がすつ

るものが、一つは第三世

代航海時代から始まる植民地支配。第二世界といふのはわりと新しく概念けれども、段階論的

にヨーロッパを中心とする中核と

地理的にはAIAAに対する不

平の考え方では戦後のアメリカ

がついで体制として戦後のアメリカ

時代といふのがあった。そして

それがおおお單一の関係に統合さ

れてくる。そこで、その開拓戦略といふの意味を主導したのは本質的

にいて石油資源ですね。なぜか

それと対抗ながらソ連体制とい

うものがある。

農村の崩壊がおこった。だからま

る。私はアメリカを帝国として見

ます。お金儲けがわかるわけです。

新植民地支配の破綻と激動

アジアに搾取の音が聞こえる

世界の民族革命をはじめ世界革命

の要素とがぶつかりあいつつ共に激化していく時代という認識いた

つけです。そこで、その戦争の政

的性格をどのように捉えているのか、また最近、武藤さんがつかつておられる「二つの帝国論」とは

どういったものなのか、そこあた

りからはじめたのですが。

武藤 第二次世界大戦の複雑

受け身にならんで、いま代理戦

界に対する支配という側面、資本等

・領土・採取・抑圧関係がすつ

るものが、一つは第三世

代航海時代から始まる植民地支配。第二世界といふのはわりと新しく概念けれども、段階論的

にヨーロッパを中心とする中核と

地理的にはAIAAに対する不

平の考え方では戦後のアメリカ

がついで体制として戦後のアメリカ

時代といふのがあった。そして

それがおおお單一の関係に統合さ

れてくる。そこで、その開拓戦略といふの意味を主導したのは本質的

にいて石油資源ですね。なぜか

それと対抗ながらソ連体制とい

うものがある。

農村の崩壊がおこった。だからま

る。私はアメリカを帝国として見

&lt;p



